

## 活動団体の応募結果及び認定について

## 活動団体の応募結果について

相談申込書応募 35件

活動団体応募数 32件（3団体が申請を辞退）

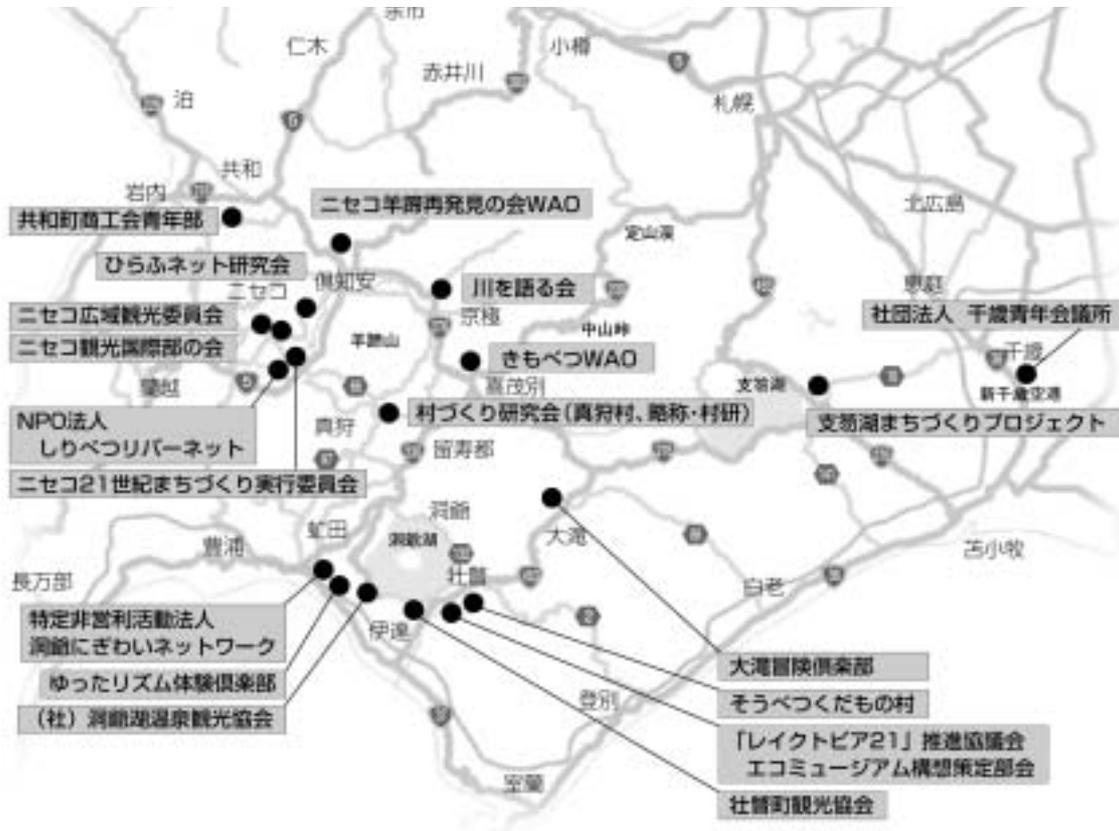
地域別	千歳地域	2件
	洞爺地域	7件
	二セコ地域	10件
	旭川占冠地域	13件

団体別	公益法人	5件
	NPO法人	6件
	民間法人	2件
	任意団体	18件
	自治体	1件

活動実績	有	29件
	無	3件

## 活動内容（延べ数）

景観保全	30件
地域づくり	20件
観光振興	29件



活動団体所在地（千歳～ニセコルート）



活動団体所在地（旭川～占冠ルート）

NO	団体名	活動エリア	参加人数	活動実績の有無	活動内容	活動内容の種類		
						景観保全	地域づくり	観光振興
1	村づくり研究会(真狩村、略称・村研)	真狩村内 道道岩内洞爺線など	27人 農業者、商工業者、会社員、団体職員、公務員、教員らが参加		<p>村の風物詩にまで育て上げてきた、フラワーロード事業の継続実施をメインに、フォトコンテストなど関連事業の充実を図っていく。ことしも去る5月25日(日)に、メンバーほか村内外からの参加者約100人で植栽し、作業終了後、恒例の焼き肉会で交流を深めた。7月下旬には咲き誇る風景が見られよう。ユリは真狩ならではの資源であり、開花期間は限られるものの個性ある地域景観を演出する上で、欠かせないものであると考え、継続実施していく。また、若手農業者らによる真狩ウインターフェスティバル実行委員会が、フラワーパーキング周辺の農地を利用し冬のイベントとして展開しているスノーモービルランド、ラリー大会に対し情報発信などの応援を行っていききたい。同実行委には当研究会のメンバーも加わっており、互いに連携を取って、冬場の風物詩、観光資源づくりを目指したい。</p> <p>このほか、本年度から事業が着工する市街地メインストリートの道道拡幅に伴う市街地再整備、街並み景観整備に関しても、スポット整備に対する提案活動を取り組んでいく考えだ。村内には、自宅敷地内を花で飾り、あずまやを作って、農産品を販売している農家もいる。こうした個人の取り組みも情報発信していけたらと考えている。こうした活動にシーニックバイウェイ制度プログラムとの連携を取り込みながら効果を上げていきたい。</p>			
2	共和町商工会青年部	岩内洞爺線(道道66号線)	22人		<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちの観光資源でもある神仙沼周辺道路のゴミひろい</li> <li>・資源調査 パノラマラインのビューポイント発掘、調査に基づいての提案・計画</li> <li>・神仙沼の歩く歩道の100円募金の告知</li> </ul>			
3	ニセコ羊蹄再発見の会 WAO	ニセコ羊蹄山麓エリア	45人		<p>ニセコ羊蹄山周辺の優れた景観の再発見とその情報の発信</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. そのために、会員による景観調査会を7月に第1回として実施予定、今後継続的に実施し情報の検証、新たな情報の発見に努める。</li> <li>2. 年内にフォトコンテストを実施する。これには地域内の多くの観光、まちづくりの団体等に広く協力を呼びかけ、ニセコ羊蹄山周辺の広範囲に実施する。これ自体が観光イベントとして地域PRの手段となり、さらに、この結果として出てくる作品は地域固有の観光商品の材料とする。</li> <li>3. 町村単位で地域活動をする地域おこし、まちづくりの会をネットワークし、各地域内のビューポイント情報を総合的に集約する。(2と同時進行)</li> <li>4. これら集約された情報により、広域的な景観マップの作成を行う。(来春をめどとする)優れた景観フォトを利用したはがき、カレンダー、Tシャツなど商品への利用を提案し、商品化を進める。これにより、継続した会の活動資金の確保を目指す。(来年度中の事業家を目指す)</li> <li>5. HPの立ち上げにより集めた地域情報の発信を行う。</li> <li>6. 優れたロードサイドの景観ポイントの再発見により、出てきたポイントについて専門家を交えた周辺の環境調査を実施し、周辺環境整備とその必要性の周知を訴え、整備の実現に取り組む。モデル事業により、具体的な提案が具現化できるところまでを目指す。</li> <li>7. 継続的な勉強会・講演会の実施。景観改善への啓蒙活動を含む。年3～4回予定</li> </ol>			
4	ひらふネット研究会	国道5号、276号、道道343号、倶知安町道、その他	10人		<p>私たちは多くのお客様に楽しく快適に過ごしていただける地域を目指して活動を行っておりますが、その中で、将来は世界の山岳リゾートと比較されても恥ずかしくない地域づくりをしていきたいと考えております。</p> <p>ここ数年、海外からの個人旅行者が急激に増えて、道案内に苦労することが多くなりました。アメリカやヨーロッパのように地域内の道路や交差点に判りやすく愛着の持てる名称をつけ、様々な媒体(紙、メディア、Web、道路標識)で表示すれば目的地へ案内が便利になると考えました。今回の活動は北海道を代表する山岳リゾートとして、自然の景観にマッチした道路の名称や表示方法(道路標識やマップのデザイン)を専門家のアドバイスを受けながら検討し、来場者に対する調査をしていく予定であります。</p> <p>全国統一の無機質なものではなく、羊蹄山やニセコの山々の景観に合うような案内が整う第一歩になれば嬉しく思います。</p>			

5	(社)洞爺湖温泉観光協会	虻田郡虻田町地内	20人		北海道観光の魅力として、花畑などが観光の魅力として取り上げられております。このような状況の中、洞爺湖温泉周辺は現在有珠山噴火により周辺で道路工事や砂防工事が行われており、周辺の環境整備まで至っていない状況であります。 今後、植樹や植栽を道路沿線で行いながら、周辺の看板や建物などが、景観にあった整備を行っていきたくと考えております。そのはじめに、花和地区において景観に馴染んだ花畑を整備し、そこを出発点とし周辺の整備を行っていきたくと考えております。 1)道路沿線の植樹・植栽 2)周辺の看板や建物の景観に調和した整備 3)花和地区における花畑整備 4)洞爺湖畔沿いの草刈、清掃、植樹			
6	大滝冒険倶楽部(NPO法人 エコビレッジ大滝)代表	大滝村 三階滝～昭園	10人		6月に設立されたNPO法人を母体にして、自然活動をする地元のグループ大滝冒険倶楽部が主体となって自然体験メニューを制作中。 観光メニューづくり:自然体験メニュー(トレッキング、川下り等) 馬の歩く道景観づくり:旧胆振線に馬を歩かせる これらのコンテンツの情報発信をホームページにてすること			
7	壮瞥町観光協会	有珠郡壮瞥町昭和新山	42人		花壇プランター整備:沿道や各資源(上記)近隣にプランター等を設置、年3回植栽を行う。 桜の植栽管理:景観に合う樹木(桜)を適地に植栽を行う。 花畑整備:道道沿線(壮瞥温泉)にひまわり(夏カラシ等)の植栽を行う。			
8	NPO法人 グラウンドワーク西神楽	国道237号線 旭川市西御料(JR駅)～西神楽(JR駅)の間約4.7kmの区間	当NPO個人会員中32人 西神楽住民参加者による		JR富良野線と並行している国道237号線のこの区間約4.7km、幅約15～20mの細い帯状の地帯の現状は、景観的には何の工夫もなされていないので、この地域の景観を改善することにより美しい沿道づくりを実現したい。 活動方法としては、まず地域住民の理解と協力が前提であり、当NPOがこれを支援し、更に行政との各種の協議により現地調査、景観コンセプトの検討及び作業分担、スケジュール作成、その他必要事項の検討調査を行う必要があり、地域の住民が主体となって参画し、作業を推進することを基本的方針とする。 このためこの事業を推進する地元の団体として「西神楽シーニックバイウエイ推進協議会」を組織して計画を立案、実施してゆきたい。 またこの国道沿線の西神楽駅前には築80年経ったレンガ造りの老朽化した空き同然の倉庫があり、今は農協が管理している。この倉庫が小樽、函館のような観光施設として、例えば道の駅とかレストラン、地場産品の即売など多目的にリニューアル活用が出来れば地元にとっては景観形成及び活性化及びのシンボルとなると思われる。			
9	「レイクトピア21」推進協議会エコミュージアム構想策定部会	伊達市、虻田町、豊浦町、洞爺村、大滝村、壮瞥町(別紙地図参照)	14人		目的 : 洞爺湖周辺地域6市町村(伊達市、虻田町、豊浦町、洞爺村、大滝村、壮瞥町)では、「レイクトピア21」推進協議会エコミュージアム構想策定部会において「洞爺湖周辺地域エコミュージアム(自然博物館)構想」を推進しております。 2000年3月の有珠山噴火は洞爺湖周辺地域に大きな被害をもたらし、災害からの早期復興のため、「北海道活性化懇談会」において火山遺構を新たな観光資源として活用する方策が提言されました。「洞爺湖周辺地域におけるエコミュージアムの構想」はその後、北海道開発局室蘭開発建設部や財団法人北海道地域総合振興機構、北海道そして西胆振6市町村が中心となって検討を重ねられ2002年6月に取りまとめました。 エコミュージアム(自然博物館)は、地域の資源を新たに認識し、その資源を活かして、より魅力的なふるさと、地域を創造しようとする取り組みであります。 内容 : 洞爺湖周辺地域エコミュージアム(自然博物館)構想の策定と推進 ・ホームページ、パンフレット等による情報発信 【ハード系事業】 ・地域資源(サテライト)の保存整備 ・テーマセンター(コア施設)の整備 ・サテライト、コア施設を結ぶネットワーク道路・散策路等の整備 ・情報発信事業として統一サイン(看板)整備に関する調査、検討 【ソフト系事業】 ・運営(住民)組織の具体化と人材育成事業の推進			

10	支笏湖まちづくりプロジェクト	支笏湖周辺道路(国道・道道・市道及び林道などその他の道路)	10人	支笏湖地区の活性化と環境保全 店街やホテルとの勉強会の開催 支笏湖資源発掘マップの作成 既存組織の見直し ギャラリーウォークの継続 クリスマスイルミネーション継続 ビジターセンターの夜間プログラムの実施 歴史的建造物の活用や既存施設を活用した拠点施設の設置と運営 まちなか、道路、各拠点の清掃活動 適正利用(オーバーユース対策)や水面利用のルールの創出 少子高齢化対策 住民・近隣住民・観光客を巻き込んだ湖畔花壇づくりイベントの開催 新しい観光づくり オンリーワンの自然体験プログラムの企画・運営 トレイルコース(フットパス)の選定と整備 季節や支笏湖の自然にマッチした大小のイベントの企画・運営 国道沿道や園地及び周辺道の季節の庭づくりとルールの創出 総合インフォメーションの創出 遊休建物のこだわりショップ化 各種教室又は講座の開催 環境省の緑のダイヤモンド計画やそれに伴う道路改良工事における景観や植栽及び設置物のデザイン等の提言・要望 外客誘致用パンフレットの製作及び配布			
11	ニセコ広域観光委員会	道道343号線とそこからつながる道路、および尻別川沿い	25人	1. 道道343号線沿いのインフォメーションの充実。(フリーペーパー作成と配布作業、) 2. 秋、今年度のマスコミ招聘事業の実施。(農産物をテーマとしたニセコの魅力の掘り起こし、およびPR)。 3. 来年度以降、インフォメーションセンター機能を持った施設の充実。 4. 道道343号線沿い、尻別川沿いなどを利用した遊歩道の整備、促進事業の展開。			
12	NPO ネイティブクラーク	旭川～美瑛～富良野	13人	美しい沿道景観のため馬を手段として、地域の動植物の保護、保食しながら自然との共生を計ります。 旭川、美瑛、富良野の乗馬施設と連携し、237号線沿にブライドルパスが可能かどうか調査いたします。 北海道を訪れる人達が287号は、馬が通れる道があるということをイベント等の開催により印象づけます。			
13	ニセコ21世紀まちづくり実行委員会	ニセコ町 国道5号及び道道岩内洞爺線	実行委員 148人	国道5号元町交差点(道の駅ニセコビューラザ)からJRニセコ駅区間において 純粋な地域住民により組織された「ニセコ21世紀まちづくり実行委員会」が沿道景観を花と緑により街区のトータルコーディネート住民参加により実施計画を策定し、住民参加により花苗移植から管理、及び関連事業までを行い、道路沿線環境の整備により市街地域(商店街と生活空間)の観光資源化を実現し、合わせて各種共催事業(観光協会、商工会、教育委員会、行政その他地域団体)を開催し、本フェスタ開催を契機として「地域コミュニティの再生」と「地域産業の連携促進と活性化」を目差す事業であります。2002年度は市街地域を目標としたツアーが生まれ、関連宿泊客で3000以上が確認されている。今年度も昨年同様の事業実施を目指し景観整備を図るものである。			

14	NPO循環型社会立案サポートセンター	美瑛町を通る国道237号沿線及びその周辺	主要人数20人 スタッフ50人以上	<p>身体障害者・高齢者に優しいユニバーサル景観モデル路線に！ 237号沿線での色鮮やかな花々や匂いのある草木などの栽培。 四季を通じて色鮮やかで香り豊かな様々な花々を栽培する。 美瑛町の中心部に位置する、鉄西公園などでの花々の栽培支援。 鉄西公園を利用して後述の色盲、全盲者などに対する情報発信基地に。 (身障者のためのインフォメーションセンター創設) 赤麦に代表される美瑛の丘や離農畑の景観保全支援。 美瑛町の元風景といわれる赤麦(タクネ小麦)栽培の支援など。 沿線近郊の「パッチワークの丘」に代表される丘の景観の保全。 離農畑の景観を守る為に緑肥用のカラシナやヒマワリなどの作付けを支援 すべての人に配慮した237号情報の提供 身体障害者を募り237号沿線のヒヤリング実施等 誰もが楽しめるイベントの企画や会場づくりと運営 身体障害者・高齢者がゆったりとくつろげる空間の提供</p>			
15	深山峠観光開発振興会	上富良野町 深山峠を中心とした里人地区	44人	<p>国道237号沿道環境整備「花いっぱい運動」を積極的に進めることにより、地域資源の保全と活用を実施できる地域社会作りを目指します。 「沿道環境整備から生まれる新しい地域社会の創造」 1. 深山峠「花道街道237」花いっぱい運動(別紙参照) 2. 「とんとんまつり」を通して、地元産品の販売をお手伝いしていきます。(別紙参照) 3. 「男爵芋畑一坪オーナー会」を実施(別紙参照) 4. 北の大地の自然環境保護及びカワシンジュガイの生息保護活動(別紙参照)</p>			
16	ニセコ観光国際部の会	ニセコアンヌプリを中心に半径20キロメートル内	25人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光情報誌の海外への送付</li> <li>・エリア飲食店等の英語メニューの作成願い及び協力</li> <li>・観光案内所へ当方の電話番号を通知し、窓口における海外客の対応への協力</li> <li>・海外雑誌社等の取材協力</li> <li>・英語版ホームページによる観光情報発信</li> <li>・海外客への年間を通しての誘客活動</li> </ul>			
17	ゆったりリズム体験倶楽部	西胆振地区(洞爺湖を中心とする周辺市町村)	19人	<p>観光客のニーズは、従来型の団体旅行中心から個人重視型観光へとシフトしてきています。上記のように洞爺湖周辺地域には素晴らしい景観のみならず、こだわりの食材が豊富にあるし、様々な体験観光メニューが用意されているにもかかわらず、情報発信やサービスの提供といった側面から見ると、未だ満足できるものではありません。従って、今後は札幌国際大学を連携して、マーケティングの視点にたった活動を展開する予定です。</p> <p>平成15年度の活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要沿道及びその周辺地域の隠れ名所等の探索と環境整備の必要な地域、ポイントなど調査研究活動とデータベース化</li> <li>・体験観光メニューの開発・提供</li> <li>・環境保全活動(ゴミ拾い運動)と啓蒙</li> </ul> <p>平成16年度の活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要沿道及びその周辺地域の隠れ名所等の探索調査とデータベース化の継続</li> <li>・上記調査研究及びデータベースに基づいた新たなスタイルの体験観光メニュー &amp; コースの開発と各ビューポイントの環境整備活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>；環境保全のためのゴミ持ち帰り運動との抱き合わせ体験観光</li> </ul> </li> <li>・新たな情報発信装置としてのホームページ制作とガイドブックの作成 <ul style="list-style-type: none"> <li>；札幌国際大学生によるHP開発とHPの管理・運用</li> <li>；ガイドの要らない有料の自然観察型沿道景観と見どころマップ(=地元住民との交流促進につながるガイドブック) / 花いっぱい運動と連携させて花の種をセットすることで有料化</li> </ul> </li> </ul>			

18	上富良野町商工会商業部会	吹上上富良野線金星橋～上富良野旭中富良野線上中交差点間上富良野停車場線JR駅前～農協事務所交差点まで(1,800m)	100人		近年大型小売店の進出や既存商店の商業活動の低迷により、過去には賑わいを見せた中心市街地も衰退してきている状況です。沿道商業者が中心となり、通りを彩る「花の取組み」により、沿道全体が大きくなっています。「まちの中心(顔づくり)」「中心市街地再生」の気運の高まりから、広い範囲の住民によって将来に向けた整備構想の策定作業が住民主体で行われています。ハード面の整備にとどまらず、空き店舗や空き地の利活用、街なかで行われる様々なイベントの検討など、ソフト機能の重要性についても認識し「おもてなし」の観点から人と人がふれあうあたたかな気持ちが通い合う、まちの中心づくりに向けて構想策定作業が進んでいます。商店街の活性化を促進するため小売業、飲食業、サービス業の事業者店舗の新築等を行う場合、商店街で行うことにより、商業振興を図る個店の魅力を高める営業施設の増改築、商店街の環境整備など共同で行う自主的努力に対して、町からも支援されています。			
19	そうべつくだもの村	国道453号線を中心とする支笏湖から洞爺湖を中心とするエリア	21人		<ul style="list-style-type: none"> <li>・おいしいくだもの生産</li> <li>・修学旅行・団体客等の共同受入</li> <li>・修学旅行・団体客等の体験学習受入</li> <li>・地域の環境整備、PR</li> <li>・各種イベントの開催</li> <li>・販売ルートの開拓</li> </ul>			
20	グリーンステージNPO法人設立準備室	大雪山十勝連峰南側	約10人(事業に合わせ緊急雇用なども予定)		<p>1. コミュニケーションロード事業 [目的] 対話ができるロードづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「国道、道道、市道、町道、村道、農道、私道、作業道、遊歩道、登山道、畦道、境界道、けもの道、村道といった道路」には、それぞれの物語があります。例えば、その道のなりたち、アイヌ語の名前、そこから眺める四季の景観、その近辺のエコロジーな話、農家の作物の話、どんな人が利用する道か・・・などなど、四季折々の目的に合わせ、道の情報が体験できる・・・訪れた人とロードとのコミュニケーションを図れる方法を模索する事業を目指します。</li> <li>・短期・・・各道路の調査・研究・情報集約</li> <li>・中期・・・各道路の拠点・インタープリターの発掘作業とMAPづくり</li> <li>・長期・・・各所への掲示板や情報誌などの発行。永続的にできるシステムづくり</li> </ul> <p>2. ロード・ツーリズム事業 [目的] 体験できるロードづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フットパス・サイクリング・ウォーキング・歩くスキー...車から降りた後も季節別、目的別にアクティビティを楽しめるロードの発掘事業</li> <li>・短期・・・体験別の楽しめる道路調査</li> <li>・中期・・・実際に体験するための整備事業と情報づくり</li> <li>・長期・・・永続的にできるシステム</li> </ul> <p>3. オーダーメイド ロードツアー事業 [目的] 体験型ツアー・エコツアーなどこのコリドーならではの又、道路との接点がある体験型メニューの開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・短期・・・この沿線で実施されている体験型観光ポイントの整理と情報化</li> <li>・中期・・・沿線を縦断できる体験メニューの組み合わせや新規メニューの開発</li> <li>・長期・・・実行体制や組織づくりと実施</li> </ul> <p>4. ロードイベント事業 [目的] シーニックバイウェイのPRイベント。例えばカーナビを利用したロードオリエンテーリングやロード・ツーリズム事業で設定したロードの大会など、シーニックバイウェイの知名度を上げる為のイベントを毎年行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・短期・・・イベントの企画調整・実行委員会の立ち上げ・試験的イベントの実施</li> <li>・中期・・・いくつかのイベントを実施。各イベントの検証</li> <li>・長期・・・定期イベントとしての絞込みと永続的な実施にむけての組織化</li> </ul>			
21	特定非営利活動法人洞爺にぎわいネットワーク	国道230・453号(大滝、壮瞥、虻田町、洞爺村)、道々洞爺湖登別線、道々月浦公園線、虻田町洞爺湖温泉内町道	27人		<p>沿道の植栽、花いっぱいロードの作り</p> <p>現在、町道停車場通り線の桜並木復活のために今年度は約30本の八重桜の苗木を植樹し、今後も他路線でも植樹を行い観光客と地域住民に喜ばれる活動を行う。道々洞爺湖登別線洞爺湖温泉街において花壇を水銀灯支柱に取り付け景観向上活動を実施。</p> <p>隠れ名所・達人バンク発掘など地域の資源調査</p> <p>洞爺湖エリアには地元しか知らない隠れた資源(名所名跡名店など)が多々あり交流人口の増加推進、穴場再発見と題し、隠れた物・人について再確認し、地域の資源として発信する。</p> <p>情報の発信・パンフレットの作成</p> <p>地域の資源の調査に基づき、パンフレットを作成するなどして情報を発信します。</p> <p>新たな体験観光の発掘</p> <p>火山ある風景を題材としたフォトポイント発掘事業。</p>			

22	(社)かみふらの十勝岳 観光協会	上富良野町全域	14人		かみふらの観光八景と五大名所の環境整備 ・観光八景、五大名所への誘導看板の設置 ・観光八景へのトイレ・見晴台の整備 ウォーキングコース環境整備 ・コース内に数カ所のトイレ設置 ・コースの誘導看板の設置 * 具体的に関係機関等検討協議していきたい。			
23	(有)フラワーランドかみ ふらの	上富良野町全域	メロン生産者38戸		テーマ:国道237号沿道景観の付加価値を高めるための地域活動 農村景観づくり ・地域資源(農産物等)の魅力度調査 ・地域の農村景観の現況整理(地域の農村景観を考える) 立ち寄りポイントの創出・体験型複合施設(観光施設と加工施設等)の需要等の調査 ・体験型複合施設(観光施設と加工施設等)の検討 産直イベントの企画運営 ・地域資源(農産物等)の産直及び商品化にあたっての需要等の調査 地域資源(農産物等)の啓蒙活動 ・観光客(年間36万人の来場者)に対しての地域資源(農産物等)の啓蒙活動			
24	川を語る会(京極町)	国道276を中心とした 京極町市街地および ふきだし公園周辺	40人		・京極町市街地を流れるワッカトサップ川、オロッコ川、ふきだし公園(ふきだし湧水)から流れる 噴出しの沢川などについて、ワークショップなどを開催して河川空間の構想を策定する。 ・川と市街地の景観をテーマにタウンウォッチングを開催する。 ・国道から目に付く河川空間を中心に清掃や草刈などを行う。 ・噴出しの沢川の散策路沿いの清掃と草刈を実施した。 ・市街地の景観を高める議論をワークショップなどで行う。			
25	NPO法人しりべつリバー ネット	国道276号喜茂別町 から国道5号蘭越町ま で尻別川流域区間	260人		国道276号線と国道5号線と並行して流れる、尻別川流域景観(自然)と文化の保全、維持、復 元活動を関連行政(国土交通省、北海道、流域市町村)と協同で実施している。また、流域内の 各種団体(つりの会、自然保護団体、その他市民団体)と連携して流域文化の調査研究活動も 実施している。関連項目についてはホームページに掲載。http://www.river-net.gr.jp 今回の参 加申請については流域文化と自然(道路空間からの景観を中心としたもの)の維持、復元、広 報活動です。			
26	きもべつWAO	国道276・230号 喜 茂別町内沿線			・R276、230の交差する場所を情報発信基地として整備し、生の観光情報をインターネット・ 携帯電話等で発信し、季節のマップを作る。これらを発展させ会の活動資金を得る。 ・フラワーストリートの活動を地域と連帯して行う。 ・ツインピークスのビューポイントを決めて、駐車場を整備する。フォトコンテストの実施。 ・地域の農産物の体験。販売の手助けをする。(インターネットの活用)			
27	かなやま湖の森 2.21.2	国道237・38号富良野 市山部～237号南富 良野町金山峠、38号 南富良野町狩勝峠	10人		下記の活動により対象地域の自然及び景観の保全・再生と一般市民・観光客の参加・利用の 促進を計る。 国道沿いののはげ山への一般市民・観光客参加による体験観光型の植林事業。 野生動物の出現情報をタイムリーにかつ視覚的に訴える看板による啓発により、野生動物 への注意を喚起し、かつ事故等の原因となるゴミ・空き缶のポイ捨てを抑制する活動。 国道38号沿いの田園パッチワーク景観、及びかなやま湖、夕張岳、芦別岳が見渡せる絶景 ポイント「ゼロの山」へのかなやま湖畔キャンプ場からの登山道開削活動。			

28	富良野エコミュージアム	富良野を中心として、 美瑛から占冠のエリア	10人	<p>私たちは3年間に渡って「富良野型エコミュージアム」の研究と調査をしてきた団体です。そこで培ったまちづくり・地域おこしの「精神」に則り、シーニックバイウェイ制度のプログラムを展開したいと考えています。まず、1年目はシーニックバイウェイのメインテーマである「道」を中心にして、どんなまちづくりができるのかを研究・調査する事業を進めたいと思います。今の時点で考えていることは、富良野周辺でも特に美しい道路からの景観を写真やビデオ、コメント、マップなどで紹介するポイントを設定し、ポイントに接する道路や看板の整備や改善の提案。また、何気なく見過ごされている道路に新たな視点・発想を付け加え、地域環境に密着した「カラマツ街道」「雪道街道」等の名前の考案やルートづくりの提案。そして、中心市街地活性化事業に連動した、街中の道路整備と美化の推進の提案などです。</p> <p>また、ホームページ、コミュニティFM、映像、フリーペーパーなどのメディアを使って、例えば、観光シーズンの道路渋滞情報、観光道路ルート情報などシーニックバイウェイに関する富良野発の情報発信事業の可能性なども研究・調査したいと考えています。</p>			
----	-------------	--------------------------	-----	--	--	--	--

29	花人街道観光対策連絡協議会	美瑛町・上富良野町・中富良野町・富良野市・南富良野町・占冠村	6市町村・7団体(商工会)・6団体(観光協会)人	<p>既に取り組んでいる事業の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光地域を中心とする国道・道々・町道の清掃活動(商工会・観光協会)</li> <li>・生活道路を中心とする清掃活動(自治会・町内会)</li> <li>・幹線道路沿線の景観形成活動(植栽、花、木)</li> <li>・道の駅など交流施設での地場産業との連携(農産物・土産品の直売)</li> <li>・地域の周遊性を高める広域観光イベント(各種スタンプラリー)</li> <li>・閑散期対策としての広域観光キャンペーン</li> </ul> <p>新たに取り組む事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(地域発信事業)</li> <li>・地域資源や景観を生かしたフィルムコミッション等の誘致、支援</li> <li>(文化・ブランドの形成)</li> <li>・食の文化(ブランド化)を高める運動・花人街道における「田園理想郷」の試行</li> <li>(統一した景観保全)</li> <li>・花人街道における景観保全、環境保全に向けた取り組み</li> <li>・花人街道沿線の町並み景観の整備など美しいまちづくり</li> <li>(交流機会の推進)</li> <li>・ウォーキングコース、サイクリングコースの点検整備</li> <li>・交流施設における雇用の創出</li> <li>・道の駅、鉄道の駅が連携する交流空間づくり</li> </ul>			
30	社団法人千歳青年会議所	新千歳空港周辺～千歳市街～支笏湖に至る道道16号線	登録人数 50人	<p>空港利用者(来訪者)に対する景観整備及びそれに伴う地域性の認識とホスピタリティーの育成。国道36号線JR南千歳駅付近を千歳及び北海道のゲートウェイとして捉え来訪者に対して良い印象を抱かせる景観づくり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プランター花植え事業</li> <li>外国人対応のサイン設置及びマップ作成</li> <li>北海道情報発信サービスの構築</li> </ul>			

31	有限会社 インターネット 富良野	富良野広域圏	5人	<p>モデルルートにおいて、地域資源を最大限に生かすことと、また快適なツーリング環境を作りあげるために、情報という切り口から多面的に地域資源の提供と発信を行うことを目的とする。</p> <p>快適なツーリング環境と地域資源の提供と発信を目指して 「インフォメーション・サテライト(情報交番)」による地域情報の提供と発信 富良野エリアを訪れる人々や地域住民に快適なツーリング環境を提供するには、いつでもどこでも気軽にタイムリーな各種情報を入手できるような環境作りが大切です。また、地域資源の活用においても、リアルタイムの景観情報や地域固有の情報の発信が重要と考えます。そのような観点からわれわれグループはインターネットを核として、定点カメラによる景観の発信やミニFM放送などでの地域の各種情報の提供や発信をおこなうために、国道沿いのパーキングエリアや情報BOXなどの道路関連施設をフルに利用した、「インフォメーション・サテライト(情報交番)」の設置を考案しました。富良野エリア(広域圏)の各ポイントに、人々が必要な情報を容易に入手できるように、先端情報機器を駆使した「インフォメーション・サテライト(情報交番)」を設置し、快適なツーリング環境の提供を図るとともに、地域資源の発信にも利用しようというのがその趣旨です。</p> <p>具休案  <ul style="list-style-type: none"> <li>・富良野周辺の各ポイント(パーキングエリアなど)に、ランドマークとなるような、小さな(おしゃれな・美しい)「インフォメーション・サテライト」を設置する。</li> <li>・「インフォメーション・サテライト」の役目は、ミニFMの発信局、定点観測カメラの設置場所、及び無線LANの利用場所、および訪れる人々への情報提供施設となる。また、災害時などの緊急連絡ポイントとしても活用する。</li> <li>・「インフォメーション・サテライト」内部に情報端末機器を設置し、ボタン一つで各種の各種情報(天気予報・宿泊情報・マップ・イベント情報・飲食店情報・緊急(災害)情報など地域に根ざした情報)が得られるようなシステムを作る。(光ファイバー回線によるインターネットを利用)</li> <li>・同時に映像機器やミニFM局のアンテナも設置し、情報端末の操作に慣れていない人でも、視覚と聴覚によって各種の情報が得られるように工夫すると同時に、国道沿いのFM難聴解消とFMによる情報提供を行う。また、緊急時の防災システムとしても利用する。</li> <li>・各サテライトに定点観測カメラを設置し、地域景観や道路状況のなどが一目でわかるようにする。</li> <li>・無線LAN設備を設置し、モバイル通信機器の利用が可能な場所にする。</li> <li>・提供コンテンツは「インフォメーション・サテライト」での利用はもちろんのこと、すべてをインターネット上で発信をし、メディアミックスによる活用を図る。</li> <li>・インフォメーション・サテライトに一カ所一カ所程度の管理人を置き、利用方法などのガイド役になっていただく。</li> <li>・地域住民を巻き込んだコンテンツ作りを行う。</li> </ul> </p>			
32	北のロマンスバイウェイ	美瑛町	4人	<p>町並み景観の整備 北海道ならではの「花と色彩」をベースに町並み整備を推進する。 国道237号の市街地約1km区間に地域資源を活用して整備する。 統一したブランドイメージ成し遂げるため企画を検討する。</p>			